

健康づくりは 幸せづくり

Making Health
is Making Happiness



証券コード ● 4559

第70期

株主通信

2023年4月1日～2024年3月31日

Contents

株主の皆様へ	P.1
営業の概況（連結）	P.3
研究開発の状況	P.5
研究開発パイプライン	P.6
生産物流の状況／次期の見通し	P.7
株主様ご優待のお知らせ	P.8
トピックス	P.9
財務諸表（連結）	P.11
会社情報	P.13
株式情報	P.14
株主メモ	



ゼリア新薬

ZERIA



株主の皆様には、平素より格別のご支援を
賜り、厚く御礼申し上げます。

第70期の事業概況に關しまして、ここに
ご報告させていただきます。

代表取締役会長兼CEO

伊部 幸顯

代表取締役社長兼COO

伊部 充弘



当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動規制の緩和などもあり、個人消費や雇用情勢に持ち直しの動きがみられ、さらにはインバウンド需要が増加するなど、景気は回復の兆しがみられました。一方、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う物価上昇、円安の進行、緊迫化する国際情勢など、先行き不透明な状況が続きました。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、薬価の毎年改定や後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が推進されており、事業環境は一層厳しさを増しております。また、OTC医薬品市場におきましても、市場競争の激化などにより、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、第11次中期経営計画(2023年度～2025年度)の初年度にあたる当連結会計年度において、グローバル展開を加速する中、クロストリディオイデス・ディフィシル感染症治療剤「ディフィクリア」(国内販売名:「ダフクリア」)の寄与もあり、欧州地域を中心に海外売上を大幅に拡大させました。また、国内市場におきましても、医療用医薬品事業は薬価改定の影響などを受け苦戦したものの、コンシューマーヘルスケア事業は「ヘパリーゼ群」、「コンドロイチン群」など主力品の寄与により、売上を拡大させました。

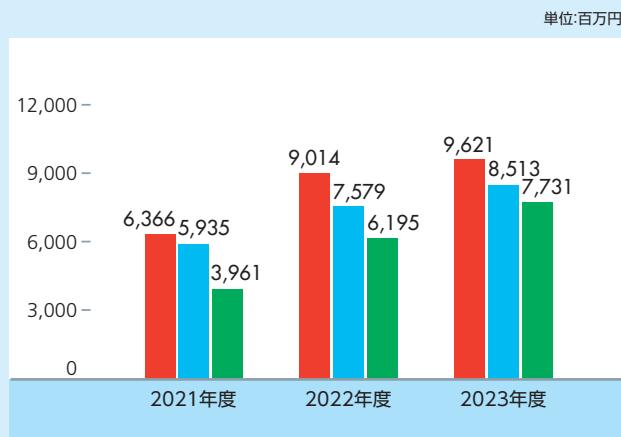
これらの活動の結果、当連結会計年度の売上高は、757億25百万円(前期比10.7%増)となりました。利益につきましては、営業利益96億21百万円(前期比6.7%増)、経常利益85億13百万円(前期比12.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益77億31百万円(前期比24.8%増)となりました。

なお、当連結会計年度の海外売上高比率は51.5%(前期47.4%)となっております。

売上高



営業利益 (■) / 経常利益 (■) / 親会社株主に帰属する当期純利益 (■)



医療用医薬品事業

主力製品の潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」は、国内市場においては薬価改定や競合品の影響もあり苦戦いたしましたが、海外市場において高用量製剤「アサコール1600mg錠」の伸長を背景にイギリスなどで好調に推移したことや為替の影響もあり、全体では増収となりました。「ディフィクリア」は、欧州地域を中心に売上を大幅に拡大いたしました。一方、炎症性腸疾患治療剤「エントコート」は、海外の一部の国で後発医薬品が上市された影響を受け売上は減少いたしました。機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド」は、ほぼ前年度並みとなりました。

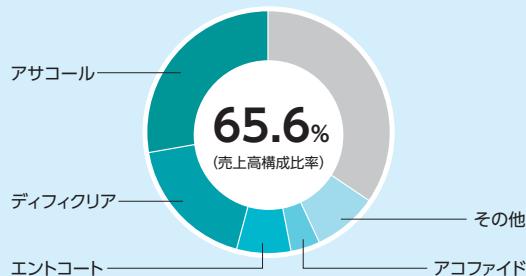
これらの結果、当事業の売上高は、495億71百万円(前期比14.9%増)となりました。



売上高

495億71百万円 前期比 **14.9%増**

主要製品売上高



アサコール	209 億円
ディフィクリア	135 億円
エントコート	54 億円
アコファイド	30 億円

医療用医薬品事業連結売上高

単位:百万円



コンシューマーヘルスケア事業

主力製品の「ヘパリーゼ群」は、医薬品ヘパリーゼ群、コンビニエンスストア向けヘパリーゼW群ともに好調に推移いたしました。また、「コンドロイチン群」、植物性便秘薬「ウイズワン群」の売上高も伸ばいたしました。なお、2023年度中に皮膚疾患治療薬「プレバリンαクイック軟膏」「プレバリンαクイッククリーム」などの新製品を発売いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、259億98百万円(前期比3.6%増)となりました。



OTC医薬品

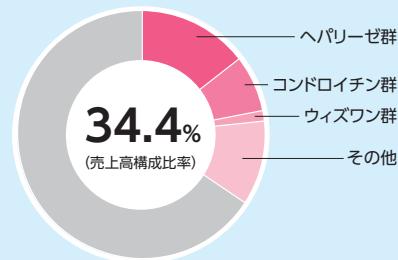


ヘパリーゼ®Wシリーズ

売上高

259億98百万円 前期比 **3.6%増**

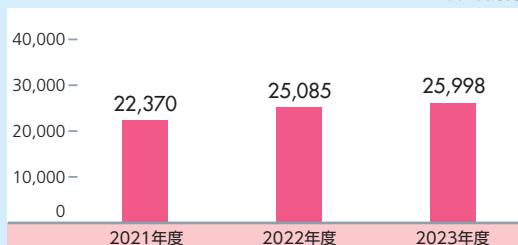
主要製品売上高



ヘパリーゼ群	109 億円
コンドロイチン群	57 億円
ウイズワン群	12 億円

コンシューマーヘルスケア事業連結売上高

単位:百万円



研究開発の状況

研究開発におきましては、スイス子会社のTillotts Pharma AGとの連携によるグローバル開発体制のもと、開発テーマを厳選のうえ、重点領域である消化器分野を中心に、導入品を含め複数のプロジェクトの評価を進めてまいりました。

「Z-100」につきましては、新たな適応症での臨床開発に向けて、非臨床試験を着実に推進し、パイロット臨床研究の準備を進めております。

自社オリジナル品の「Z-338(一般名:アコチアミド)」につきましては、ライセンス導出先のFAES FARMA, S.A.が、エルサルバドル、ペルーの2カ国で機能性ディスペプシアを適応症として承認を取得するとともに、2023年10月にメキシコで販売を開始いたしました。また、タイにおいては、ライセンス導出先のMeiji Seika ファルマ株式会社が、機能性ディスペプシアを適応症として承認を取得いたしました。ベトナム子会社のPharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd(以下[F.T.Pharma])は、ベトナムで機能性ディスペプシアを適応症として、承認申請を実施いたしました。また、新たにシンガポールで、United Italian Trading Corporationが、機能性ディスペプシアを適応症とした承認申請を実施いたしました。国内におきましては、小児機能性ディスペプシア患者を対象としたフェーズⅢ試験を実施しております。さらに、同一成分の「ZG-

802」につきましては、低活動膀胱を対象としたフェーズⅡ試験を推進いたしました。当該疾患は近年注目を集めているQOL(生活の質)に多大な影響を及ぼす疾患と言われておりますが、有効な薬物治療は世界的に確立されておられません。当該品目の開発を通じて未充足の治療選択肢を提供し社会に貢献してまいります。

Vifor(International)AGから導入いたしました「ZG-801」につきましては、国内において高カリウム血症を対象として承認申請を行いました。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、皮膚疾患治療薬「プレバリン α クイック軟膏」「プレバリン α クイッククリーム」などの新製品を順次発売いたしました。

研究開発パイプライン

新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

(2024年5月9日現在)

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
申請中	ZG-801／パチロマー ソルピテクスカルシウム	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合非吸収性 ポリマー	導入品
フェーズⅢ	Z-338／アコチアミド	ゼリア	小児機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ	ZG-802／アコチアミド	ゼリア	低活動膀胱	下部尿路機能改善作用	自社品
フェーズⅡ* (医師主導治験)	Z-338／アコチアミド	九州大学	食道胃接合部通過障害	上部消化管運動改善作用	自社品

*:日本医療研究開発機構 (AMED) の助成事業に採択

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
フェーズⅢ (欧州)	Z-338／アコチアミド	ゼリア	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
承認 (ホンジュラス、ドミニカ共和国、エクアドル、 チリ、エルサルバドル、ペルー)	Z-338／アコチアミド	Faes Farma	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 (導出)
承認 (タイ)	Z-338／アコチアミド	Meiji Seika ファルマ	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 (導出)
申請中 (ベトナム)	Z-338／アコチアミド	F.T.Pharma	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
申請中 (シンガポール)	Z-338／アコチアミド	United Italian Trading Corporation Pte. Ltd.	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 (導出)
申請中 (コロンビア、コスタリカ、グアテマラ、 パナマ、ニカラグア)	Z-338／アコチアミド	Faes Farma	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 (導出)

発売となった開発品

発売日	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
2023年10月 (メキシコ)	Z-338／アコチアミド	Faes Farma	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 (導出)

ご参考

フェーズⅠ (第Ⅰ相臨床試験)

動物実験を終えて効き目(有効性)と安全性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

フェーズⅡ (第Ⅱ相臨床試験)

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少人数の患者さんで「薬の候補」の効き目(有効性)、副作用(安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法をプラセボ※と比較しながら調べます。

フェーズⅢ (第Ⅲ相臨床試験)

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目(有効性)、副作用(安全性)、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、プラセボと比較する試験を行います。多くの場合、二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

※プラセボ 有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

生産物流の状況／次期の見通し

● 生産物流の状況

生産物流におきましては、原材料やエネルギー価格、物流コストが高騰する中、品質確保および安定供給を前提に、生産の集約や内製化の推進による原価低減に取り組んでまいりました。

生産関連部門につきましては、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行しましたが、引き続き各工場での感染リスク対策の徹底を推進するとともに、安定供給体制の維持を図りました。また、当社が保有する埼玉・筑波両工場に子会社2社が保有する工場（健創製薬株式会社つくば工場、イオナ インターナショナル株式会社福島工園）を併せた国内4工場の生産体制の見直しを行い、生産ラインの集約化や内製化を順次進めております。この動きを加速し、今後とも一層の原価低減に取り組んでまいります。

物流関連部門につきましても、引き続き業務効率化による物流コストの削減を図ってまいります。

なお、昨年度に引き続き、一部の医薬品製造販売業者などによるGMP省令違反事例が発生しており、行政による製造所の査察体制が強化されております。当社各工場におきましては、GMP体制強化のために担当責任役員を組織上明確にし、管理体制を強化いたしました。今後とも各工場におけるクオリティーカルチャー（品質を優先した企業文化）の浸透を図るとともに、品質管理部門や本社担当部門による監督の体制強化を通じて、万全を期してまいります。

● 次期の見通し

2025年3月期の通期連結業績につきましては、売上

高830億円（前期比9.6%増）、営業利益100億円（前期比3.9%増）、経常利益100億円（前期比17.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益78億円（前期比0.9%増）と予想しております。

売上高

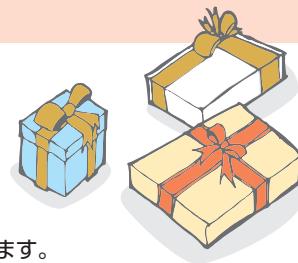
医療用医薬品事業につきましては、主力製品である「アサコール」や「ディフィクリア」の海外における売上伸長が見込まれることから、増収を予想しております。また、コンシューマーヘルスケア事業につきましても、「ヘパリーゼ群」や「コンドロイチン群」の売上増加に加えて、「ウィズワン群」、薬用歯みがき「マズデント群」などの主力製品に次ぐ製品群の寄与による増収を見込んでおります。

利益

エネルギー・原材料価格高騰の影響、研究開発費やマイルストーン支払などの経費の増加が見込まれるものの、売上高の増加により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに増益を予想しております。

	第70期	第71期(予想)
売上高	757億25百万円 (前期比10.7%増)	830億円 (前期比9.6%増)
営業利益	96億21百万円 (前期比6.7%増)	100億円 (前期比3.9%増)
経常利益	85億13百万円 (前期比12.3%増)	100億円 (前期比17.5%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	77億31百万円 (前期比24.8%増)	78億円 (前期比0.9%増)

株主様ご優待のお知らせ



当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待を行っております。
当社株式1,000株以上をご所有の株主様にはA~G、7つのコースからご希望のいずれかを、
100株以上1,000株未満をご所有の株主様にはHコースをお届けいたします。

ご試用によって、当社グループの幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

A コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・
特定保健用食品

「アルミ缶入りドリンク詰め
合わせヘパリーゼ®Wセット」



E コース

上質なうるおいを
体感する3品目

「IONAベーシック
スキンケア3点セット」



B コース

栄養補助食品

「コンドロサポート®
詰め合わせ」

288粒入り1個/90粒入り3袋



F コース

コンドロイチン研究を活かした、
うるおい体感の上質スキンケア

「イオナ R スペシャルケア
2点セット」



C コース

化粧品・医薬部外品・
栄養補助食品

「コンドロマックス®・
アポスティー®セット」



G コース

健康補助食品

「シーアルパ®100」
180粒入り1個



D コース

スパ発想の
オールインワン化粧品

「イオナ スパ&ミネラル
詰め合わせ」



H コース

肝臓エキス・ウコンエキス
配合ドリンク

「ヘパリーゼ®W」
10本

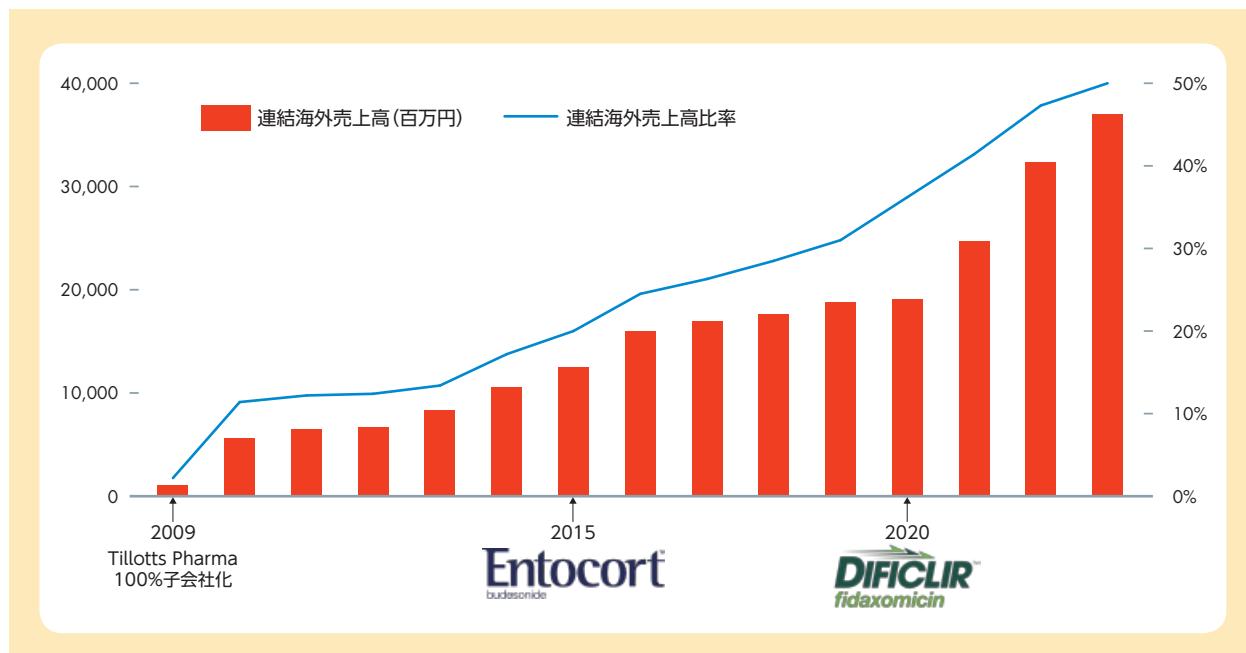


E,Fコースの製品はゼリアオンラインショップ (<https://www.zeriaonline.com/>) でお買い求めいただけます。

海外事業が大きく成長し、連結海外売上高比率は50%超えに

2023年度、連結海外売上高比率が50%を超えました。2009年にスイスのTillotts Pharmaを連結子会社としたのを皮切りに、当社は海外展開を本格化させました。その後Tillotts Pharmaは欧州域に営業拠点を設立し、自販体制を構築。「Asacol」販売網を強化するとともに、2015年に炎症性腸疾患治療剤「Entocort」を獲得し、製品ラインアップを強化しました。さらに2020年にはクロストリディオイデス・ディフィシル感染症治療剤「Dificlir」を獲得し、海外売上高は飛躍的に増加しました。

第11次中期経営計画では、好調な欧州の医療用医薬品事業に加えて、アジア地域の事業展開にも注力し、海外事業のさらなる成長を目指しています。



「プレバリン®αクイック軟膏」(指定第2類医薬品)

「プレバリン®αクイッククリーム」(指定第2類医薬品)新発売

湿疹・皮膚炎に優れた効果を示すアンテドラッグステロイド*を配合した「プレバリンαクイック軟膏」および「プレバリンαクイッククリーム」を、2023年11月より全国の薬局およびドラッグストアにて発売しました。

湿疹、皮膚炎、あせもなどは、無意識のうちに掻き壊して症状をさらに悪化させることがあります。「プレバリンαクイック」シリーズは、炎症を抑えるアンテドラッグステロイドに、かゆみを抑える成分など6種の有効成分を配合した皮膚疾患治療薬です。

「プレバリンαクイック」シリーズの特長

▶ 湿疹・皮膚炎に優れた効果を示すアンテドラッグタイプのステロイドを配合

有効成分プレドニゾロン吉草酸エステル酢酸エステル(PVA)が患部の炎症を抑えます。

▶ 虫刺され、かぶれ、あせも、湿疹やつらいかゆみに

炎症を抑えるPVA、かゆみを抑えるリドカイン、クロルフェニラミンマレイン酸塩を配合。さらにアラントイン、ガンマオリザノールなど4種類の成分を配合しました。

▶ 使用場面に応じて選べる2製品

患部を保護する軟膏タイプと、べとつきにくいクリームタイプをご用意。症状や使用場面に合わせてお選びいただけます。

※アンテドラッグステロイド

プレドニゾロン吉草酸エステル酢酸エステルは、皮膚表面できちんと効いて、体内に吸収されるとすみやかに分解され、活性の低い成分となるアンテドラッグステロイドです。



財務諸表（連結）

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度	科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度
		2023年3月31日現在	2024年3月31日現在			2023年3月31日現在	2024年3月31日現在
[資産の部]				[負債の部]			
流動資産		48,203	57,809	流動負債		47,158	54,518
現金及び預金		16,219	20,323	買掛金		1,996	3,273
受取手形及び売掛金		17,512	21,249	短期借入金		34,890	38,283
たな卸資産		12,764	14,489	その他		10,271	12,960
その他		1,800	1,915	固定負債		22,195	16,186
貸倒引当金		△93	△169	長期借入金		14,541	7,943
固定資産		86,830	92,724	繰延税金負債		5,190	6,447
有形固定資産		24,591	26,517	退職給付に係る負債		234	458
建物及び構築物		6,967	6,805	その他		2,228	1,337
機械装置及び運搬具		1,570	1,780	負債合計		69,353	70,704
土地		12,359	12,581	[純資産の部]			
建設仮勘定		1,619	3,125	株主資本		53,476	59,267
その他		2,074	2,225	資本金		6,593	6,593
無形固定資産		41,930	43,139	資本剰余金		11,685	11,685
投資その他の資産		20,308	23,067	利益剰余金		53,462	59,254
投資有価証券		6,849	9,145	自己株式		△18,264	△18,265
繰延税金資産		136	110	その他の包括利益累計額		11,973	20,355
退職給付に係る資産		12,927	13,410	その他有価証券評価差額金		△314	2,001
その他		442	442	為替換算調整勘定		8,015	14,660
貸倒引当金		△46	△41	退職給付に係る調整累計額		4,272	3,693
資産合計		135,034	150,533	非支配株主持分		230	206
				純資産合計		65,680	79,828
				負債・純資産合計		135,034	150,533



連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		2022年4月1日から 2023年3月31日まで	2023年4月1日から 2024年3月31日まで
売上高		68,383	75,725
売上原価		18,894	20,223
売上総利益		49,488	55,501
販売費及び一般管理費		40,473	45,879
営業利益		9,014	9,621
営業外収益		379	652
営業外費用		1,815	1,761
経常利益		7,579	8,513
特別利益		21	1,479
特別損失		328	483
税金等調整前当期純利益		7,272	9,508
法人税、住民税及び事業税		823	1,970
法人税等調整額		242	△157
法人税等合計		1,065	1,813
当期純利益		6,206	7,695
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)		10	△36
親会社株主に帰属する当期純利益		6,195	7,731

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		2022年4月1日から 2023年3月31日まで	2023年4月1日から 2024年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		13,157	12,183
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,574	△3,952
財務活動によるキャッシュ・フロー		△7,415	△8,124
現金及び現金同等物に係る換算差額		1,346	2,402
現金及び現金同等物の増減額		4,514	2,510
現金及び現金同等物の期首残高		11,579	16,094
現金及び現金同等物の期末残高		16,094	18,604

連結株主資本等変動計算書(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	6,593	11,685	53,462	△18,264	53,476	△314	8,015	4,272	11,973	230	65,680
当期変動額											
剰余金の配当			△1,939		△1,939						△1,939
親会社株主に帰属する 当期純利益			7,731		7,731						7,731
自己株式の取得				0	0						0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						2,316	6,644	△578	8,381	△24	8,357
当期変動額合計	—	—	5,791	0	5,790	2,316	6,644	△578	8,381	△24	14,148
当期末残高	6,593	11,685	59,254	△18,265	59,267	2,001	14,660	3,693	20,355	206	79,828

会社概要

創立	1955年12月
資本金	6,593,398,500円
社員数	1,777名(連結)
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売および輸出入
	2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売および輸出入

取締役および監査役 (2024年6月27日現在)

代表取締役会長 兼 CEO	伊 部 幸 顕
代表取締役社長 兼 COO	伊 部 充 弘
取締役(社外取締役)	小 森 哲 夫
取締役(社外取締役)	野 本 亀久雄
取締役(社外取締役)	森 元 誠 二
取締役 兼 常務執行役員	岡 澤 有 輝
常勤監査役	遠 藤 広 和
常勤監査役	黒 田 博 之
監査役	中 由 規 子
監査役	紙 透 大

執行役員 (2024年6月27日現在)

常務執行役員	加 藤 博 樹
執行役員	平 賀 義 裕
執行役員	河 越 利 明
執行役員	草 野 研 治
執行役員	岩 井 充
執行役員	秋 庭 和 広
執行役員	鈴 木 健 一
執行役員	桜 井 政 和
執行役員	田 中 靖 久

取締役の兼任を除く

事業所

- 本社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 東京支店
- 名古屋支店
- 大阪支店
- 中四国支店
- 福岡支店
- 中央研究所
- 埼玉工場
- 筑波工場
- 札幌物流センター
- 東京物流センター
- 埼玉物流センター
- 大阪物流センター
- 九州物流センター

主な子会社

- Tillotts Pharma AG(スイス)
- Tillotts Pharma AB(スウェーデン)
- Tillotts Pharma Ltd.(アイルランド)
- Tillotts Pharma UK Ltd.(英国)
- Tillotts Pharma Czech s.r.o.(チェコ)
- Tillotts Pharma Spain S.L.U.(スペイン)
- Tillotts Pharma GmbH(ドイツ)
- Tillotts Pharma France SAS(フランス)
- Tillotts Pharma Italy srl(イタリア)
- Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd(ベトナム)
- ZPD A/S(デンマーク)
- ゼリアヘルスウエイ株式会社
- イオナ インターナショナル株式会社
- 健創製薬株式会社
- 株式会社ゼービス
- 株式会社ゼリアップ

株式の状況

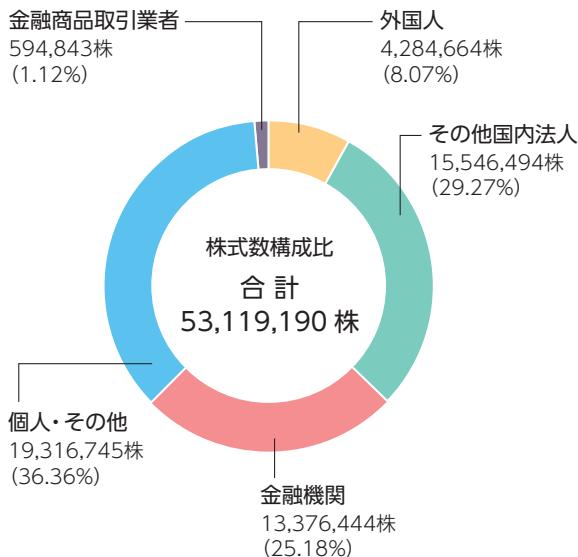
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	53,119,190株
③株主数	14,360名

大株主

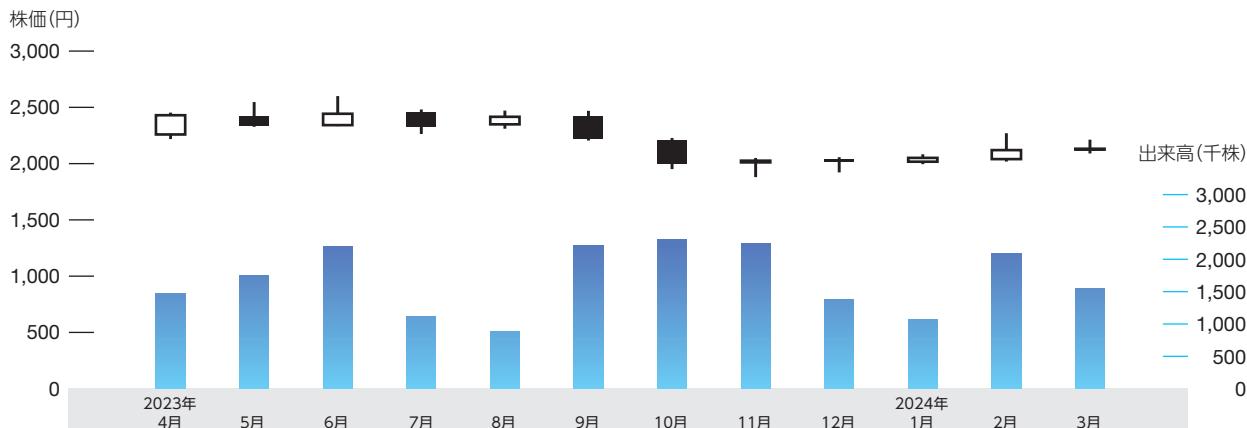
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社伊部	4,741,847	10.8
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	3,309,400	7.5
株式会社三菱UFJ銀行	2,107,050	4.8
森永乳業株式会社	1,840,215	4.2
伊部幸顕	1,592,967	3.6
株式会社三井住友銀行	1,406,131	3.2
株式会社みずほ銀行	1,406,053	3.2
SMBCファイナンスサービス株式会社	900,900	2.0
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	889,700	2.0
キッセイ薬品工業株式会社	867,900	2.0

(注)持株比率については、自己株式(9,039,354株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月下旬		
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/		

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

<https://www.zeria.co.jp/>

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。



ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351(代表) FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
<https://www.zeria.co.jp/>

健康づくりは幸せづくり



ゼリア新薬
ZERIA